

第3回室蘭地区指導者研修会報告書

平成30年10月30日

報告者 ユース育成部会 深谷明弘

- 1 目的 室蘭地区の一貫指導を目指した指導技術の向上とベクトルの共有の場とする。
- 2 主催 室蘭地区サッカー協会
- 3 主管 室蘭地区サッカー協会ユース育成部会
- 4 期日 平成30年10月28日(日) 18:00-20:00
- 5 場所 まなびの里サッカー場
- 6 指導者 三木卓也氏 運営: 深谷明弘
- 7 内容 キッズプログラム研修会
- 8 対象者 室蘭地区登録チーム 指導者及びサッカーに興味のある一般の方
- 9 報告 当日は13名の地区指導者、21名の(内子ども5名)一般の方 合計34名参加

当日は32名の参加者の中、キッズリーダー(三木氏)の紹介からスタート。アイスブレイクで緊張を解しながら、指導者と一般の方々の距離を縮める。その後、鬼ごっこ形式でのプログラムでは“観る”ことに焦点を当て、子どもに返ったように大きな声を出しながら走り回った。

第2セッションではボールを使用しボールフィーリングに挑戦。普段、あまり運動していないお母さんたちは苦戦しながらも、“どうやったらできるかな”“悔しい、普段から少し動こう”などの声も聞かれ、指導者のアドバイスを受けながら積極的にトライしていた。

第3セッションでは“ウォーキングサッカー”走ってはいけない、ダイレクトで3本つながると1点と言うルールの中、4チームに分かれて4分の1コートで試合。運動量は少ないものの、余裕があるだけに“観る”ことを意識しながらプレーすることが可能で、初心者の方々も楽しく試合に参加することができた。

まとめ ユース育成部会(深谷)より

今回の研修での大きな目的は、“指導者と保護者との距離間を縮める”ことにフォーカスした。日常、指導者は教える立場で保護者は子供を預ける立場であり、そこには自然と不可解な距離ができがちである。キッズプログラムを通してお互い“サッカーを楽しむファミリー”であることを認識させることができた。キッズプログラムでは三木氏のアプローチスキルが非常に高く、お互いの垣根を短時間で崩し、楽しい雰囲気の中で実施することができた。指導者は三木氏から指導法を学び、保護者はサッカーの楽しさを体感できる内容であった。参加保護者からは“このような機会を増やしてほしい”“ナイターでのサッカーは初めてで雰囲気が良い”などの声もいただき、充実した研修会となった。一般参加は、遠くは長万部、伊達、登別方面からの参加もあり、今後の展開に向けさらに検討が必要であると考えます。当日はお忙しい中、斉藤技術委員長にも視察していただき感謝申し上げます。